

クルマのための場所から、人がワクワクして楽しめる場所へ。

～やさしい社会のあり方を体現する場へ向け、KK線再生プロジェクト本格始動～

東京高速道路株式会社（本社：東京都中央区）は、東京都と共に、都心を走る東京高速道路（KK線）を緑に囲まれた歩行者中心の公共的空間へ再生するプロジェクトに取り組んでいます。

歩行者中心の公共的空間に再生する整備着手に向け、KK線再生プロジェクトが始動します

KK線は、民間企業である東京高速道路株式会社が、都有地に道路施設を建設し運営するという、民間活力によるインフラ整備、いわゆるPFIの先駆的な事業モデルとなっています。私たちは、半世紀余り都市高速道路網として貢献してきたKK線が廃止された後に、既存施設を活用し、歩行者中心の公共的空間に再生するという前例のない取り組みにチャレンジしてまいります。

新たなデザイン体制「共創プラットフォーム」を中心に様々な関係者と連携する「共創的公共」を目指します

既存施設を活用した歩行者中心の公共的空間の整備においては、様々な領域の専門家、KK線周辺地域の方々、東京都や地元3区（千代田区、中央区、港区）などの行政機関、さらに、都民や民間企業なども加わって議論し連携することで、共に創り上げる「共創的公共」を実践します。「ひと・まち・環境が持続的に共存できる、やさしい社会の在り方を体現するために、社会に新たな「場」を提供し続ける」ことを目指して、施策（提供されるモノ・サービス・価値）やアクティビティ（活動）の検討をしております。

その中心となるのが「共創プラットフォーム」という、様々な領域の専門家が共創しながら、これまでにない新しい公共的空間の仕組みを企画検討、実装に向け、デザインをする場です。本ホームページで既報の通り、今年4月、パノラマティクス主宰の齋藤精一氏に共創プラットフォームのコンダクター（指揮者）にご就任いただき、検討を進めております。

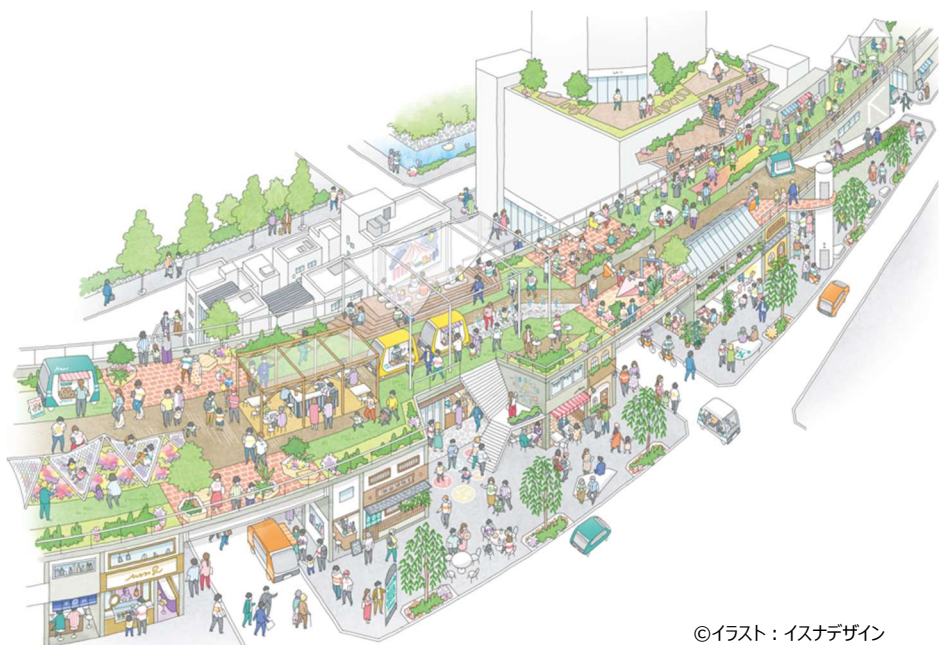
KK線再生プロセスの情報発信と共に参加機会を設けます【第一弾カンファレンスの開催（11/15）】

KK線再生プロジェクトでは、整備期間においても、供用後の空間の利活用を見据えた様々な実証実験、整備の進捗状況など、適宜、検討プロセスに関する情報発信を行います。また、KK線周辺地域の方々や都民をはじめ、KK線再生プロジェクトを応援して下さる方々に、広く参加して頂ける機会を設けながら共に創り上げていく取組を進めてまいります。

11月15日には、KK線再生プロジェクトが目指す姿を共に創り上げていくため、関係者のみなさまと議論するためのカンファレンス（会議）を開催いたします。第一弾となる今回は小規模のカンファレンスとなりますが、多彩なゲストをお迎えしてKK線再生について語って頂く予定です。

今後も定期的にかンファレンスを開催し、少しずつ参加の輪を広げていきたいと考えております。

これからのKK線再生プロジェクトに期待と応援を寄せて頂ければ幸いです。



©イラスト：イスマデザイン

※このイメージ図は、今後の議論に向け、共創プラットフォームで検討されている内容をイメージ化したものです。



KK 線再生プロジェクト・カンファレンスのお誘い

▼開催日時：2024年11月15日（金）13:00-17:00（受付開始は12:30～）

▼開催場所：東京高速道路 北数寄屋ビル1階（東京都中央区銀座4-1先）

※有楽町マリオン向かい、2階にHIS銀座本店のあるビルの1階です。



出典：Yahoo!地図

▼参加費：有料 1,000円 ※チケットご購入後のキャンセル（ご返金）はお受けできません。

▼スケジュール（予定）

| 時間 | プログラム |
|------------------------|---|
| 13:00～13:05 | オープニング |
| 13:05～13:30 | KK 線再生プロジェクトの概要説明 |
| 13:30～16:50 | クロストーク |
| ① 13:30～14:30 【登壇者】 | テーマ①：KK 線と沿線地域連携の可能性 ・ 田中 智行氏（京橋三丁目町会長） ・ 東條 幹雄氏（全銀座会街づくり委員長） ・ 木村 暖子氏（新橋一丁目東部町会長） ・ 齋藤 精一氏（共創プラットフォーム コンダクター） |
| ② 14:40～15:40 【登壇者】 | テーマ②：KK 線の新たな活用が生まれた経緯 ・ 出口 敦氏（東京大学執行役・副学長、大学院新領域創成科学研究科教授） ・ 佐藤 伸朗氏（元東京都技監、株式会社建設資源広域利用センター代表取締役社長） ・ 三宮 隆氏（東京都都市整備局理事） ・ 加藤 浩（東京高速道路株式会社取締役社長） |
| ③ 15:50～16:50 【登壇者】 | テーマ③：様々なデザインで共創的につくる空間の可能性 ・ 齋藤 精一氏（共創プラットフォーム コンダクター） ・ 色部 義昭氏（グラフィックデザイナー） ・ 倉本 仁氏（プロダクトデザイナー） ・ 小西 利行氏（コピーライター） ・ 永山 祐子氏（建築家） ・ 花木 万里子（東京高速道路株式会社常務取締役プロジェクト推進室長） |
| 16:50～17:00 | クロージング |

▼お申し込み方法（先着順）

Peatix よりお申し込み願います。Peatix WEB ページ <https://peatix.com/event/4155501>



■カンファレンス登壇者



出口 敦氏

東京大学執行役・副学長、大学院新領域創成科学研究科教授
1990年東京大学大学院博士課程修了（工学博士）。東京大学助手、九州大学助教授、同大学教授を経て、2011年より東京大学教授。東京大学にて総長特任補佐、研究科長を歴任、2024年に執行役・副学長。専門分野は都市計画学、アーバンデザイン。2015年度・2016年度日本都市計画学会石川賞など受賞多数。日本都市計画学会会長（2020～2021年度）、APSA（Asia Planning Schools Association）Secretariat Generalなどを歴任。2022年よりKK線再生プロジェクトアドバイザーを務める。



佐藤 伸朗氏

株式会社建設資源広域利用センター代表取締役社長
1983年東京都採用。以後、都市再生機構、葛飾区、首都高速道路株式会社にも在籍し、都市開発、区画整理、防災都市づくり、道路整備、鉄道計画など、都市整備に関する様々な職務に従事。都市整備局長、東京都技監を歴任後、2020年退職。公益財団法人東京都公園協会理事長（2020～2022年）、東京都参与（2020～2024年3月）を経て、2023年より現職。併せて府中市都市計画審議会会長、明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科客員教授を務める。2022年よりKK線再生プロジェクトアドバイザーを務める。



三宮 隆氏

東京都都市整備局理事（航空政策・交通基盤整備・交通政策担当）
1993年東京都入都。
都市整備局・建設局において、区画整理事業・再開発事業のほか街路整備事業計画等に携わる。2020年～2022年まで都市整備局オリンピック・パラリンピック調整担当部長
本年4月より都市整備局にて航空政策・交通基盤整備・交通政策担当理事
KK線関連では高速道路網の整備推進や有効活用等を担当



齋藤 精一氏

©本間無量（Rhizomatiks）

パノラマティクス主宰／株式会社アブストラクトエンジン代表取締役／クリエイティブディレクター
1975年神奈川県伊勢原市生まれ。建築デザインをコロンビア大学建築学科（MSAAD）で学ぶ。2006年に株式会社ライゾマティクス（現：株式会社アブストラクトエンジン）を設立。社内アーキテクチャ部門を率いた後、2020年に「CREATIVE ACTION」をテーマに、行政や企業、個人を繋ぎ、地域デザイン、観光、DXなど分野横断的に携わりながら課題解決に向けて企画から実装まで手がける「パノラマティクス」を結成。2023年よりグッドデザイン賞審査委員長。2023年D&AD賞デジタルデザイン部門審査部門長。2025年大阪・関西万博EXPO共創プログラムディレクター。KK線再生プロジェクト共創プラットフォームコンダクターを務める。



グラフィックデザイナー
色部 義昭氏



プロダクトデザイナー
倉本 仁氏



コピーライター
小西 利行氏

©川口宗道



建築家
永山 祐子氏

【周辺地域団体代表】

田中 智行氏
京橋三丁目町会長／有限会社田中研磨工業所代表取締役社長
東條 幹雄氏
全銀座会街づくり委員長／株式会社ワシントン靴店取締役会長
木村 暖子氏
新橋一丁目東部町会長／株式会社木村商店代表取締役

【東京高速道路株式会社

KK線再生プロジェクトメンバー】



加藤 浩
取締役社長



花木 万里子
常務取締役プロジェクト推進室長

お問い合わせ先：

東京高速道路株式会社プロジェクト推進室

e-mail : kksen@tokyo-kousoku.co.jp

【KK線再生プロジェクト紹介 WEB ページ】

<https://www.kk-saisei.com/>

